

手

9種類の手の組み方（印相）は、阿弥陀の憐れみにより救われる信者の段階に従って阿弥陀如来像が作って示しています。最も高い段階は鎌倉大仏の手の位置に示されています。親指は人差し指の先の上で一緒に接し、二つの円に近似した図形を作り出しています。正面側から見えない他の指は瞑想時のように重なり合っています。これは最も価値のある高貴な生まれであることを示す印相という意味である上品上生印と呼ばれています。

さらに、大仏の手は水鳥の水かきのようなそれぞれの指をつなぐ薄い膜があります。これはおそらく大仏の、「彼の指から誰も滑り落としてはいけない」というすべての人を救おうとする切実さを表しています。